

令和2年度農作業事故ゼロ運動推進研修会開催要領

1 目 的

北海道における農作業中の負傷事故は年間 2,200 前後発生し、ほぼ横ばい状況で推移していましたが、令和元年度は前年を 130 件上回り増加傾向を示しています。死亡事故は年間 20 件前後で推移している状況ですが、この 3 年間は連続で前年を上回り、右肩上がりで増加傾向が続いています。被災者は、農業の担い手が高齢化していることに伴い、高齢者が事故に巻き込まれる確率が高くなっており、機械、施設、環境の改善や作業方法の見直し等、高齢者の視点に立った安全対策の取組が急がれます。

このような中、農作業機を装着・けん引したトラクタは、道路運送車両法の保安基準の規制緩和に伴い、一定の条件を満たした場合に公道走行ができることになりました。この度の規制緩和は、作業機の脱着時間の削減や農地間移動の時間短縮につながり、農作業の効率化と生産性の向上が期待される一方で、一般車両との速度差の違いや、後方車両がトラクタや作業機の大きさに気付かないことで発生する追突事故等が懸念されます。

当本部では、このような状況を踏まえ、農作業事故や交通事故を未然に防止するとの観点から、農業者、JA、市町村、普及センター及び試験場等の職員の農作業安全に対する意識の向上や、地域における安全運動の推進を図ることを目的として、「令和2年度農作業事故ゼロ運動推進研修会」を開催します。

2 主 催 北海道農作業安全運動推進本部、北海道

3 日 時 令和3年2月18日（木）午後1時30分【受付開始1：00】

4 場 所 北海道自治労会館5階大ホール
札幌市北区北6条西7丁目5-3（TEL：011-747-1457）

5 講 演

時 間	内 容
13：00～13：30	受 付
13：30～13：40 10分	開会あいさつ
13：40～13：55 15分	<事務局報告：北海道における農作業事故の発生状況について>
	講 演
13：55～14：35 40分	(1) 2021年春の農作業安全確認運動について(情報提供) 農林水産省生産局技術普及課 生産資材対策室（安全指導班）
14：35～15：15 40分	(2) 事故実態を踏まえた地域ベースの農作業安全活動の重要性 (国研)農研機構 農業技術革新工学 研究センター 安全技術ユニット長 積 栄 氏
15：15～15：25 10分	休 憩
15：25～15：55 30分	(3) オホーツク地域における農作業事故ゼロ推進キャンペーンの 取組みについて ホクレン農業協同組合連合会 北見支所 営農支援室 主任技師 川 口 武 泰 氏
15：55～16：05 10分	質 疑
16：05～16：10 5分	閉会あいさつ

6 参集範囲 農業者、J A、市町村、普及センター、試験場等及び各地区本部（総合振興局・振興局・各連合会・農業公社・生産連等）、北海道農作業安全運動推進本部構成会員等

7 定 員 130名

8 参加申込

- (1) 受付期日 令和3年1月上旬から令和3年2月5日まで
(2) 申 込 書 別紙1のとおり（必要事項を記入してメール又はFAXで提出）
(3) 提 出 先 北海道農作業安全運動推進本部
〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目1-23
公益財団法人北海道農業公社内
TEL 011-232-8407
FAX 011-232-8407
Email agr-anzen@vega.ocn.ne.jp

9 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染予防対策のため、「新北海道スタイル」に沿って開催します。

- 当日に体調のすぐれない方は、参加を見合わせてください。
- 会場入口で消毒液による手指消毒と検温を実施しますので、ご協力をお願いします。
なお発熱が確認された時には、出席をご遠慮いただく場合があります。
- 研修会開催中は、必ずマスクの着用等を含むエチケットの徹底をお願いします。
- 感染拡大の状況によっては、開催を取りやめる場合があります。